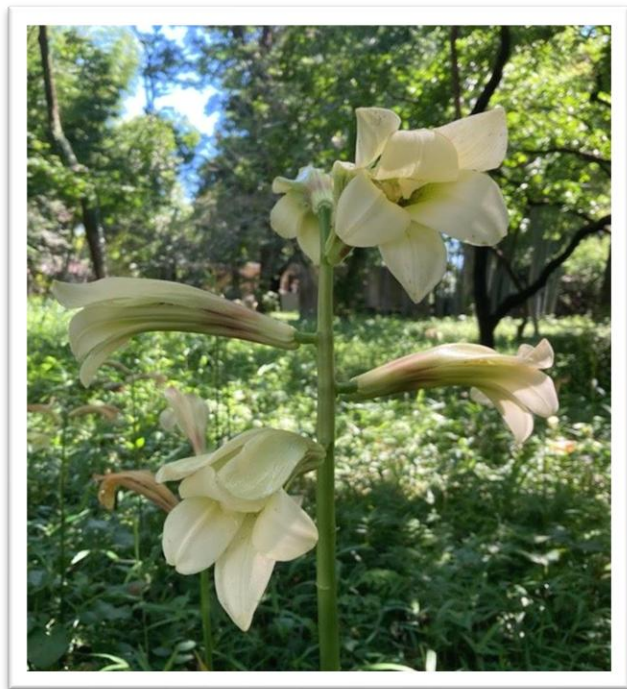




ウバユリ（姥百合）

学名： *Cardiocrinum cordatum*

ユリ科 ウバユリ属

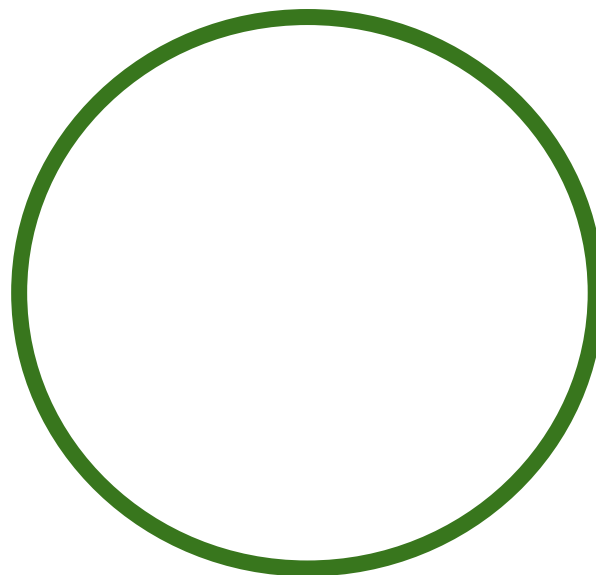
湿った林内に生息する日本固有種です。
名の由来は花が咲く時期には歯がない（葉が無い）ことから老婆に例えられたと言われています。

毎年7月に咲くウバユリは、芽生えから6～8年ほどかけて成長し花を咲かせます。

花は茎の上部に数個横向きにつき、長さ7～10cmで芳香があります。

花の季節にはマルハナバチなどの昆虫が吸蜜にやってきて花粉を運んでいきます。500個ほどの種が入った果実は晩秋に裂け、風によって種子散布され、ゆっくりと成長していきます。

memo



7月ウバユリのスタンプ

蘆花恒春園 自然観察会

2026年7月1日～7月12日



蘆花恒春園サービスセンター

ウバユリ観察エリア

【公園からのお願い】

※植物や生き物を保護しています

植物・昆虫の採取はご遠慮下さい

樹皮はがしは倒木の危険があるため

おやめください

※ロープ柵内への立ち入りは禁止です



徳富蘆花ゆかりの木

「コウヤマキ」

大正9年4月 久我貞三郎

結婚記念で金松(コウヤマキ)

2本来植したもの

出典【恒春園植物語】

コウヤマキ(高野槇) コウヤマキ科 コウヤマキ属

学名 *Sciadopitys verticillata* (Thunb.) Sieb. Et Zucc.

日本固有の常緑針葉樹で樹高30m、直径1mにも達する。樹形が美しく、世界三大庭園樹とされる。耐水性が強く風呂桶などに利用されている。和歌山県高野山に多いのでこの名がついた。蘆花が恒春園内の植物について書いた「恒春園植物語」には、「金松二本大正九年 結婚記念として」との記述がある(金松はコウヤマキの別名)。平成18年に誕生した秋篠宮悠仁親王のお印とされている。

